

令和5年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

翼東小	学校	児童数	72
-----	----	-----	----

平均値

大阪市平均を100としたとき

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
									105以上
男子	15.08	16.98	35.02	31.21	39.10	9.29	128.16	23.45	49.05
大阪市	15.97	18.72	32.66	38.27	45.10	9.50	147.92	20.35	51.13
本校と大阪市 との比較	94.43	90.71	107.23	81.55	86.70	97.79	86.64	115.23	95.93
全国	16.13	19.00	33.98	40.60	46.92	9.48	151.13	20.52	52.59
女子	14.11	14.93	36.82	30.52	24.65	9.68	117.14	14.14	47.33
大阪市	15.88	17.85	37.44	36.49	34.75	9.74	140.20	12.69	52.67
本校と大阪市 との比較	88.85	83.64	98.34	83.64	70.94	99.38	83.55	111.43	89.86
全国	16.01	18.05	38.45	38.73	36.80	9.71	144.29	13.22	54.28

結果の概要

男子は長座体前屈、ソフトボール投げで大阪市平均を上回った。特にソフトボール投げは高い数値となっている。その他の種目は下回っているが、50m走についてはほぼ大阪市平均といえる。特に下回った種目は反復横跳び、20mシャトルラン、立ち幅とびとなっている。女子はソフトボール投げが大阪市平均を大きく上回っている。長座体前屈、50m走はほぼ平均といえる。その他の種目は大阪市平均より大きく下回っており、特に50mシャトルランの数値が低い。体力合計点は男子は大阪市平均、女子は大きく下回っている。

「運動をすることは好きですか?」の項目に、男女とも80%以上の児童が肯定的な回答をしており、運動が好きな児童の割合は高い。「体育の授業は楽しいですか?」「体育の授業では進んで学習に参加していますか?」の項目では、どちらも男女とも約90%の児童が肯定的な回答をしており、体育の授業でも楽しく意欲的に運動に取り組んでいることがうかがえる。また、1週間の総運動時間が60分以上の児童の割合は男子が100%、女子は93%となっており、学校以外でも運動する時間が多い児童がほとんどである。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

昨年度は、体育の実技研修会を実施し、体育の授業で子どもたちが楽しく運動に取り組みながら、より効果的に体力向上を図れるように指導方法の改善を図ったり、投げることに特化した記録会を全学年年間2回実施したりした。ソフトボール投げの今年度の記録が男女とも大阪市平均を大きく上回ったのはそれらの取り組みの成果ではないかと考える。

本校の児童の多くは体を動かすことが好きであり、体育の時間や休み時間には運動場で元気よく運動している姿が見られる。また今年の特徴として、体育の授業が楽しく意欲的に取り組んでいる児童が多いことや学校以外で運動をしている児童が多いことがあげられる。しかし数値的には大阪市平均を下回っている種目が多い。このことから男女とも特に数値が低かった敏捷性、持久力、瞬発力を高める運動の指導法を工夫したり、それらの力が高まる遊びを紹介したりするなど、ねらいを絞った取り組みを継続的に行う必要があると考える。